

イギリス UWC atlantic 西口 裕朗さん

留学期間 R4.8～R6.5 (2年間)

1 留学の成果

今年5月18日にUWCアトランティック校(英国)を卒業し、2年間の留学が修了しました。この2年間は、言語化出来ないほどの数多くの学びと経験を得た、濃密で怒涛の時間でした。また、たくさんの価値観に揉まれ、今までに経験したことのない、常に自分の中の「常識」が揺さぶられる不思議な、そして発見の日々でした。

卒業までの4学期(今年1月～5月)は、IB最終試験に向けて学習に身を砕くと同時に、すでに1年半を過ごし愛着が出てきた場所や人たちに気楽さや穏やかさを感じる、強く思い出の残る、そのような学期でした。

卒業式の2週間前、最終試験に向けての自主学習の合間の休憩時に、友人たちに誘われて学校前に広がるシーフロント(海辺)へ向かいました。学校があるウェールズには珍しい快晴の下で、音楽をかけながら海辺に寝そべり、冗談を言って笑い合いました。その時私の中で、彼らと家族のようになれた嬉しさ、心地よさ、そして卒業して別れる寂しさ、様々な感情が湧いてきたことは忘れられません。

私のこの2年間の思い返すと、友人たちの存在の大きさは外せません。当初は、言語の壁やお互いの慣習でのすれ違い、異国から来た4人のルームメイトと同じ部屋で暮らす難しさを感じる事が多々ありました。しかし、私たちはお互いの「常識」を揺さぶりあい、切磋琢磨し、私を含めてコミュニティ全体で成長できたと思います。そして、卒業した今、友人たちとくだらないメッセージを送り合う、ふとした瞬間に、私はこの2年間でかけがえのないものを得たのだとしみじみと思います。

最後に、私はこの2年間、毎日の目標として心がけていたことがあります。それは「コンフォートゾーンから抜け出す」です。これは私が2年間、とてもお世話になった先生が、人生で成長するために大事だとよくおっしゃっていた言葉です。コンフォートゾーン、つまり自分の居心地がよい状態にいただけでは、成長できないということです。私は留学中、苦手だなと思う人や初対面の人たちに意識的に話しかけていました。何気ない事のように感じますが、これは私が日本にいる時はどちらかといえば避けていたことです。学業や仕事、生活など様々なことに自分のコンフォートゾーンがあります。これからの人生においても、自分は今どのような状態にいるのかを確認しながらコンフォートゾーンを抜け出すことを忘れずに成長を続けていきたいと思います。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ Japanese Self - Taught (Standard Level)
- ・ English B (Higher Level)
- ・ Economics (Higher Level)
- ・ Geography (Higher Level)
- ・ Physics (Standard Level)
- ・ Mathematics Analysis and Approaches (Standard Level)

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ ピアノ／ボーカルレッスン
- ・ Language guide

3 今後の活動予定

今年9月から、台湾の国立台湾大学に進学して農業経済を学びます。大学やUWCで培った知識や経験を活かして自分が社会に貢献できることを考え、ボランティア活動に参加するなど積極的に行動を起こしていきたいです。これからも一所懸命精進して参ります。

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

私がUWCアトランティック校で過ごした2年間は、一生忘れることのない、将来に向けた貴重な経験になりました。この留学を実現させてくださった、ふるさと納税寄付者の皆様本当にありがとうございました。皆様の思いを次の世代につないでいくことができるよう、これからも励んでいきたいと思っております。

5 記録写真



プロジェクトウィークでカヌーを体験



最後の英語クラスで一緒に学んだ仲間たちとの一枚



卒業式前日に開催されたプロム



卒業式の後、仲良しの友人たちとの記念写真